

1. 新たな出発？

- (1) 「領土・主権対策企画調整室」(2013年)
→「東北アジアの平和のための正しい歴史定立企画団」2005年4月に発足
→「東北アジア歴史財団」2006年9月に改組
- (2) 外務省『竹島問題を理解する10のポイント』(2008年) ←底本、島根県「報告書」
→内藤正中氏『竹島＝独島問題入門－日本外務省『竹島』批判』(2008年)
- (3) 「領土・主権展示館」(2018年1月25日) 開館→独島体験館開設(2012年)
- (4) 文部科学省「新学習指導要領」(2017年) 竹島・尖閣記述、高等学校は2018年度
→「東北アジア歴史財団」、独島教育副読本『独島を正しく知る』(2011年) 開発
- (5) 国立公文書館で竹島・尖閣問題資料展示→詳細は「領土・主権展示館」で
- (6) 2017年～、日本国際問題研究所「歴史と和解」世界に発信。シンポジウム開催
→「和解」は韓国側の概念→現状は、国際広報ではなく論争の段階→戦略の欠如

2. 文在寅大統領の「3・1節」演説文

(1) 「竹島問題」について

- ① 「独島は日本の韓半島侵奪の過程で最も先に強制占領された我々の領土です。我々の固有の領土です。今、日本がその事実を否定することは帝国主義の侵略に対する反省を拒否するのと同じことです」。

(2) 盧武鉉大統領(2005年3月7日)

- ① 「歴史・独島問題を長期的、総合的、体系的に取り扱う専担機関の設置」指示
- ② 2006年4月25日の日韓関係に対する特別談話
→「独島は日本の韓半島侵奪過程で最初に併呑された我々の領土です」。「今、日本が独島に対する権利を主張することは帝国主義侵略戦争による占領地の権利、ひいては過去の植民地領土権を主張することです。これは韓国の完全な開放と独立を否定する行為です」。

(3) 1954年10月28日、外務部長官卞榮泰の声明←韓国側の「歴史認識」の出発点

- 「独島は日本の韓国侵略に対して最初の犠牲物だ。解放と共に独島は我々の懐に抱かれた。独島は韓国独立の象徴だ」。「日本が独島を奪おうとすることは韓国に対する再侵略を意味するということだ」。

3. 韓国側の新たな動き

(1) 慶尚北道独島史料研究会の動向

- ① 『竹島問題100問100答批判1』2014年刊行
- ② 『竹島問題100問100答批判2』2016年10月25日刊行

③ 『独島関係日本古文書』 1～4

『竹島考』(2010)、『竹島紀事』(2012～2013)、『竹島図説』、『多気甚麼襍誌』、『竹島雑誌』、『竹島版図所属考』(2014)、『村川氏旧記』、「竹島に関する七個條返答書」、「池田家文書」、「村川家附竹島渡海」、「石見外記」(2015)、『通航一覽』、『通航一覽続編』、『天保雜記(松平防州一件)』、『朝鮮竹島渡航始末記』、『甲子夜話』(2016)、『天保撰要集』、『無宿狩込一件』、「対馬島宗家文書」、「甲子夜話(追加)」、「村川家文書」、「朝鮮国蔚陵島へ犯禁渡航/日本人ヲ引戻処分一件」(2017)

(2) 「独島財団」(慶尚北道庁傘下)

- ① 日本の市民団体「竹島の日を考え直す会」と提携(2013年)
- ② 2018年3月3日、第15回「竹島の日を考え直す集い」開催(八尾韓国人会館)
- ③ 2017年12月、露「サハリンと千島列島労働移民センター」と国際学術セミナー開催 嶺南大学校宋彙栄教授、啓明大学校李盛煥教授、大邱大学校崔哲栄教授
- ④ 2016年4月、中国の南京大学南海研究協同創新センターと業務提携

(3) 2018年1月18日、孔魯明元外務部長官「独島研究70年の総括と今後の研究方向に摸索」開催。池内敏名古屋大学教授、福原裕二島根県立大学教授、朴柄渉氏。
2014年11月14日、「ソウル大学日本研究所」主催の学術会議(「日本では独島問題をどのように論議しているのか?」)、日本側から和田春樹、池内敏、孫崎享、福原裕二、東郷和彦、岩下明裕の六氏が参加

(4) 2018年2月22日、舛添要一氏「日韓ガチンコ勝負、竹島問題「へそ曲がり」のススメ」(iRONNA)

「新書で簡単に入手して読める名古屋大の池内敏教授の『竹島—もうひとつの日韓関係史』(中公新書)を勧めたい。この本は文献に基づき、また多角的な資料分析を行って、日本政府と韓国政府の公式見解の問題点を摘出している。「例えば、江戸時代から竹島は日本領だったのか。池内氏の著書によると、徳川幕府は「竹島(現在の鬱陵島)」と「松島(現在の竹島)」は一体のものとして認識しており、二島とも朝鮮のものだと考えていたとある。ちなみに、日本が先占の事実により竹島を自国の領土に編入したのは、日露戦争中の1905(明治38)年1月のことである。むろん、この手続きは国際法にのっとった正当なものである」。

池内敏氏『竹島—もうひとつの日韓関係史』(中公新書)の問題点

- ① 竹島が歴史的に韓国領であったとする実証を怠り、竹島問題研究会批判
- ② 韓国側の論理を一部剽窃しての島根県竹島問題研究会批判